

## 第45回余市町寿大学「閉講式」～次年度も有意義で楽しい大学生生活を～

昨年4月14日の閉講式以来、15回の学習講座やサークル活動を通して、大学生相互の親睦を図ってきた寿大学ですが、3月16日（木）に53名が出席して閉講式が行われました。

式では、51名に修了証書（5回以上受講）、14名に精勤賞（12回以上受講）、5名に皆勤賞が授与され、学長（教育長）からは「健康で学習意欲があれば、いつまでも続けられる生涯学習の場である寿大学で仲間との絆を深めてほしい。」という式辞が述べられました。町長・議長からもお祝いと激励の言葉をいただき、学生代表の方が「大変有意義で楽しい大学生生活をおくることができ、関係者の皆様に感謝します」と答辞を述べられ、式は終了しました。

続けて、恒例になっている学生自治会主催の「お別れ会」が開催され、会長挨拶、余市町老人クラブ連合会副会長の乾杯のあと和やかに親睦を深め、仲間と過ごした1年間を振り返りました。



▲ 修了証書の授与  
代表 藤島 正昭さん



▲ 答辞を述べる藤塚 寿子さん



▲ 皆勤賞・精勤賞の授与  
代表 泉谷 忍さん

### シーズンの最後を飾る ジャンプ大会開催！

3月21日（火）、「竹鶴杯・ニッカ杯・笠谷杯兼全国ジャンプスポーツ少年団交流大会」が竹鶴・笠谷両ジャンプ場で開催されました。大会には、小学生の部3クラスに29名、中学生以上の部3クラスに25名、合わせて54名が出場し、日頃の練習の成果を競い合いました。

本町からは各クラス合わせて10名の選手が出場し、小学生女子の部で鈴木彩弓さんが2位、中学生以上女子の部で櫻井梨子さんが優勝、高校一般の部で黒川龍さんが2位に輝きました。



▲ 小学生女子の  
見事なジャンプ

### 新たな学校生活を楽しみに！

町内の小・中学校卒業式は、3月15日に中学校3校、3月下旬には小学校4校で行われ、卒業生一人ひとりに卒業証書が手渡されました。また、4月6日に小学校、7日には中学校の入学式が行われ、合わせて276名が入学しました。新入生は少し緊張した面持ちでしたが、希望を胸に式に臨んでいました。



▲ 小学校卒業式



▲ 中学校入学式

### 女性学級最終講座終了！

～講座・サークル活動にたくさん参加～

今年度最後となる第14回学習講座「反省と計画・閉講式」が3月13日（月）に行われ、38名の学級生が参加しました。

本講座では、学習講座やサークル活動を写した多くのスライド写真を見ながら一年間を振り返るとともに、新年度の学習内容について理解を深め合うことができました。

また、昨年4月11日の「閉講式・歴史探訪講座」から始まったこれまでの学習講座には433名、5月から開始したサークル活動には762名が参加するなど、学習とサークル活動の両立を目指そうとしている学級生が多くなったと思われる1年間でした。



▲ 学習風景

● 講師 辻村 達生さん（本町出身）  
懐かしいフォークソングやオリジナルの曲を中心に、いろいろなお話を交えて進める、温かみでユーモラスなコンサートです。たくさんご参加ください。

● 講師 近藤 ひとみさん（音楽療法士）  
なつかしい歌を歌ったり、音楽を聞いたりして心身の健康増進を図ります。

寿大学・女性学級のみなさんへ

寿大学 今月の学習

☆5月11日（木） 午後1時30分～3時 2階201・202号室

●「交通安全教室」（女性学級と合同講座）

● 講師 余市警察署員

高齢者が被害に会いやすい交通事故の特徴やその原因等について学習します。

☆5月25日（木） 午後1時30分～3時 2階201・202号室

●「音楽療法の体験」

● 講師 近藤 ひとみさん（音楽療法士）

なつかしい歌を歌ったり、音楽を聞いたりして心身の健康増進を図ります。

女性学級 今月の学習

☆5月11日（木） 午後1時30分～3時 2階201・202号室

●「交通安全教室」（寿大学と合同講座）

☆5月22日（月） 午後1時30分～3時 2階201・202号室

●「フォークソングトーク&ライブ」

● 講師 辻村 達生さん（本町出身）

懐かしいフォークソングやオリジナルの曲を中心に、いろいろなお話を交えて進める、温かみでユーモラスなコンサートです。たくさんご参加ください。

## 前期公民館文化教室開催日のお知らせ

申込みされた方は、案内ハガキを確認し、公民館へ時間までにお出でください。

### 余市歴史ウォーク

- ◆開催日 広報6月号生涯学習だよりに掲載します。
- ◆時間 午後1時～3時
- ◆大人の英会話教室（火曜日）
- ◆開催日 5月9日・16日・23日・30日
- ◆時間 午後6時～8時
- ◆「書」の楽しみ方教室（水曜日）
- ◆開催日 5月17日・24日・31日
- ◆時間 午後6時～8時

### 英会話教室



## 健康生涯スポーツ教室開催のご案内

町教育委員会では、気軽に楽しめる軽スポーツを通じて、参加者同士の親睦を深め、健康の保持・増進を図ることを目的に「健康生涯スポーツ教室」を開催します。種目・場所・期日などは、広報5月号の折込チラシをご覧ください。



## 図書館のすてきな窓

☆【図書館一日司書】 カウンターで本の貸出しをしたり、本にカバーをかけたたり図書館のいろいろな仕事を体験しませんか！

◆日時 5月14日(日) 午後1時15分～5時

◆対象 町内小学5年生～中学生

◆定員 4名(応募多数の場合は抽選)

◆締切り 5月11日(木)まで(電話申込み可)

☆【めざせ！図書館の達人】 パソコンを使った本の探し方、しらべ方のコツをおしえます！

◆日時 5月20日(土) 午後1時30分～2時30分

◆定員 6名(先着順)(電話申込み可)

◆対象 小学生(1・2年生は保護者同伴)  
※町内在住の方を優先させていただきます。

## ☆「本のひろば 春のおはなし会」

楽しいおはなしをたっぷり用意してくれています。春のちよっと特別なおはなし会です！楽しい時間をみんなですごしましょう。無料です。

◆日時 5月21日(日) 午前11時～

◆対象 幼児から大人まで

◆出演 公民館サークル「本のひろば」の皆さん  
◆内容 ペーパーサートミュージックシアター「とんてつたバナナ」ほか

☆「パパと絵本であそぼう！」 絵本をまねっこしたり、ふれあい遊びをしたり、絵本をつかってパパと遊ぼう！栄養士から「おかしなお菓子のほなし」もありです。日頃のお菓子について楽しみながら教えてもらおう！もちろんママも大歓迎、一緒にどうぞ！ 無料です。

◆日時 6月4日(日)午前11時～

◆対象 0歳～4歳くらいまでのお子さんと保護者の方(お子さんと一緒に参加してください。)

◆定員 15組(先着順)(電話申込み可)

☆【おはなし会】 5月13日、27日(各土曜日)

①午前11時～ ②午後2時～

☆【本のひろば読み聞かせの会】 午前10時30分～

5月10日、17日、24日(各水曜日)

☆今月の休館日 毎週月曜日、5月2日(火)、31日(水)は図書整理日

※行事の会場・申込みはすべて図書館です

【大人映画会】(午後2時～)	
7日(日)	「ロードトゥパーディション」(洋画)
11日(木)	「ALWAYS 続・三丁目の夕日」(邦画)
18日(木)	「ニュー・シネマ・パラダイス」(洋画)
25日(木)	キネマの天地」(邦画)
【祝日映画会】(午後2時～)	
3日(水)	「理由なき反抗」(洋画)
4日(木)	「超高速！参勤交代！」(邦画)
【こどもの日映画会】(午後2時～)	
5日(金)	「なかよしブルート」
【子ども映画会】(午後2時～)	
6日(土)	「映画クレヨンしんちゃん 3分ボッキリ大進撃」
20日(土)	「きかんしゃトーマス トーマスのあたらしいともだち」ほか
開館時間 午前10時～午後6時30分	
◆問合せ 図書館 ☎22-6141	
<a href="http://www.yoichi-lib-unet.ocn.ne.jp/">http://www.yoichi-lib-unet.ocn.ne.jp/</a>	

## 水産博物館収蔵品

### 内耳鉄鍋(ないじつてつなべ)

鍋の内側に弦をぶら下げるための耳がある鉄鍋を内耳鉄鍋と呼びます。水産博物館で展示している鍋は13世紀に北陸からもたらされたものとされ、北海道の日本海側では出土例の少ないものです。



▲展示中の内耳鉄鍋

内耳鉄鍋は炉の上に炉鉤(ろかぎ)で吊り下げて使われ、た「かまど」から、家の中央に「炉(ろ)」が登場し、そこに鍋がぶら下げられて煮炊きなどの調理をする生活に変化していったことも意味します。

この鍋が当館で展示できるまでのいきさつは、「余市町でおこったこんな話」(その105)で紹介しました。当時の新聞報道では「難破船の遺留品?」「刀や古銭がぞくぞく 余市の大浜中で発掘」と大きな見出しが躍っています。現在の登川河口から150mほど内陸の工事現場の砂の中から、刀一振り、鏝の一部、鍋釜数個、食器、古銭が出土したと伝えられています。この鉄鍋はその中のひとつで、耳を内側につけたのは、ひもを弦にして炉の上に吊るした時に、焼け焦げないようにしたものと考えられています。

北海道内各地で発見される内耳鉄鍋は東北地方の青森県や岩手県で作られて、津軽海峡を越えて北海道へ渡りました。古代から中世の記録に、蝦夷の昆布や鮭、毛皮が出てきますが、こうした北海道の産物を交易の品として、主に渡島半島に居を構えていた集団が交易を担い、鉄鍋を手に入れたものと考えられています。最初に書いた鉄鍋がもたらされた13世紀には、余市川河口の大川遺跡からも能登半島の珠洲(すず)で焼かれた陶器が大量に出土しています。日本海域航路によって余市から運ばれたものは何だったのか、想像が膨らみます。